

2025 年度版

教職員向け INFOSS 情報倫理の受講マニュアル(詳細版)

本紙は、筑波大学で提供している学習管理システム（以下、manaba）を利用して、情報セキュリティの倫理教育教材である「INFOSS 情報倫理」を受講するためのマニュアルです。

【注意事項】

- 教職員が受講するのは「INFOSS 情報倫理教職員用コース」というコースです。学生用コースを受講した場合は、受講済みとして判定されない場合があります。
- 受講有効期限は **3 年度分 (2023 年度～2025 年度)** です。有効期限が切れた後再受講が必要です。
- 近年、個人情報漏えい事件が社会問題化しています。本学においても適切な個人情報の保護・管理の徹底が求められていることから、本コースに「個人情報、機密情報の盗難・漏えいを防ぐためのチェックリスト」を追加し、個人情報、機密情報の取扱いの重要性を再認識してもらうこととなりました。
- INFOSS 情報倫理は、修了テストの合格し、かつチェックリストの提出をもって受講完了とします。**
- manaba では履修登録したコースを解除するための「履修解除」機能がありますが、「INFOSS 情報倫理」のコースでは、この機能は使用しないでください。
「履修解除」ボタンをクリックした場合は、受講済みとして判定されません。

「履修解除」はしない



1. manaba へのログイン <manaba へのログイン>

- manaba ログインするためには、以下の URL へアクセスし、UTID-13（職員証裏記載の 13 術の番号）または UTID-NAME（familyname.firstname.zz の形式）をした最大 20 文字の文字列）と筑波大学統一認証システムのパスワードを入力して、ログインしてください。
統一認証システムのパスワードがわからない場合は、職員証を持参し、学術情報メディアセンター事務室又は附属図書館のカウンターへ。統一認証アカウントが発行されてない派遣職員等は、教育クラウド室へ manaba アカウントを申請することで受講することができます。

【既に INFOSS 情報倫理をコース登録している方】

⟨<https://manaba.tsukuba.ac.jp>⟩ 手順3へ

【INFOSS 情報倫理をコース登録していない方】

⟨https://manaba.tsukuba.ac.jp/ct/home_selfregistration_197840⟩

※ コース登録の詳細は、手順2を参照のこと。

2. INFOSS 情報倫理のコース登録

■ 簡易リンクからのコース登録

- INFOSS 情報倫理をコース登録していない方は、

⟨https://manaba.tsukuba.ac.jp/ct/home_selfregistration_197840⟩より manaba へアクセスします。

ログイン完了後、「INFOSS 情報倫理教職員用コース」コース登録用の画面が表示されますので、「登録」ボタンをクリックし、コース登録を完了します。「登録」ボタンがない場合、既にコース登録が完了しています、3へ進んでください。

■検索機能からの登録

<コース検索画面へのアクセス>

- 上記の簡易リンクよりアクセスが出来ない場合は、manaba にログイン後、マイページ右側のメニューにある「自己登録について」の「コースを検索して登録」を選択します。

<コース検索画面>

- コース検索画面が表示されますので、「コース名」の条件入力欄に「INFOSS 情報倫理」と入力し、“検索”ボタンをクリックします。

<コース検索結果>

- コース検索結果画面に、検索結果一覧が表示されますので、一覧より「INFOSS 情報倫理教職員用コース」を選択します。
※本コースの作成年度が 2017 年のため、[2017] と表示されていますが、最新版のコースです。

<コース登録>

- コースへの登録画面が表示されますので、コース名が「INFOSS 情報倫理教職員用コース」となっていることを確認し、“登録”ボタンをクリックします
※教職員用コースを受講しない場合は、履修済みとならないことがありますので、注意してください。

3. 受講するコンテンツの選択

<コース選択>

- コース登録が完了するとマイページに「INFOSS 情報倫理教職員用」のコースが表示されますので、コースを選択して受講を開始します

<コンテンツ選択>

➤ 「INFOSS 情報倫理教職員用」のコースにアクセスすると、ページ下部に、コンテンツ一覧が表示されますので、受講したいコンテンツを選択します。以下のうちどれか1つの版を受講すれば修了です。

■速習版(教職員向け)

約1時間の学習で、情報倫理の最新知識を学習することができます。

■通常版

約3~4時間の学習で、ネットワーク社会に係る情報倫理教育の最新知識を深く学習することができます。

■English Version

画面の日本語表示を英語表示に切り替えたバージョンです。

4. INFOSS 情報倫理の教材で学習

<INFOSS 情報倫理の教材>

➤ コースからコンテンツを選択した後、ページの教材メニューにあるリンクより INFOSS 情報倫理の教材を受講することができますので、しっかり学習してください。

5. INFOSS 情報倫理の修了テストの解答と提出

<修了テスト>

➤ コースからコンテンツを選択した後、「修了テスト」メニューにある各テストのリンクより修了テストを受講することができます。修了テストのリンクをクリックすると各修了テストのTopページへアクセスしますので、"スタート"ボタンをクリックし、テストを開始できます。修了テストは、20問で構成されており、何度でも解答可能です。

速習版では、7章からなる教材に対して、修了テストは1つとなっています。

<提出確認画面への遷移>

- 設問にすべて解答したら、ページ下部の“次へ”ボタンをクリックします。
この時点ではまだ修了テストの受講が完了していません。

<提出確認画面>

- 提出確認画面が表示されますので、“**提出**”ボタンをクリックします。「合格しました」と表示されたら、修了テストの受講が完了します。「速習版修了テスト」、「通常版修了テスト1～5」、「English version test1～5」のうちでいずれか1つ以上に合格すると、「個人情報、機密情報の盗難・漏えいを防ぐためのチェックリスト」を提出することができます。
※すべての修了テストを受講する必要はありません。

6. 個人情報、機密情報の盗難・漏えいを防ぐためのチェックリストの提出

<チェックリスト>

- 修了テストに合格後、「個人情報、機密情報の盗難・漏えいを防ぐためのチェックリスト」を提出します。
コースコンテンツの「修了テスト」メニューにある「個人情報、機密情報の盗難・漏えいを防ぐためのチェックリスト（教職員用）」をクリックして回答画面に入り、チェック項目にすべてチェックをして、“**提出**”ボタンをクリックしてください。

7. INFOSS 情報倫理の受講状況の確認

<受講完了確認画面>

➤ 「個人情報、機密情報の盗難・漏えいを防ぐためのチェックリスト」を提出したら受講完了です。

受講が完了したことを確認するには、「小テスト」一覧の画面で

① いずれかのテストが「**提出済み 合格済み**」となっていて

② 「個人情報、機密情報の盗難・漏えいを防ぐためのチェックリスト」チェックリストの状態が「**提出済み 合格済み**」となれば、

受講完了です。

<e-ラーニング受講管理システムについて>

➤ manaba とは別システムの「e-ラーニング受講管理システム」で、自分の受講状況を確認することができます。

URL

(<https://lms4el.sec.tsukuba.ac.jp>)

問合せ先：情報環境機構（学術情報部情報基盤課）

Tel : 029-853-2077

Email : oi-security@oii.tsukuba.ac.jp

■情報環境機構サイト- e ラーニング教材「INFOSS 情報倫理」の受講について

<<https://oii.tsukuba.ac.jp/infoss/>>

◆ e ラーニング受講管理システム（受講状況確認システム）

<<https://lms4el.sec.tsukuba.ac.jp/>>

